

入善町で園家山植樹活動が行われました

令和6年10月18日（金）、入善町下飯野「園家山」において入善町下飯野地区と入善町が主催する『園家山植樹活動』が行われました。

下飯野地区では平成29年頃より「松くい虫」の大きな被害を受けました。国の造林事業や、県の水と緑の森づくり事業を活用し、枯れたマツの伐倒駆除や、薬剤散布・樹幹注入などの予防対策を行い、海岸林の保全に努めています。さらに令和3年度からは、地区と町とが協同で被害跡地へ抵抗性マツを植栽しており、今回が4度目の開催となります。今回も地区住民をはじめ、入善花とみどりの少年団員（飯野小学校の6年生）、入善町長、町議会関係者など60名ほどが参加しました。

地区公民館で開会式を行い、当センター職員より潮害や風害を防ぐ海岸林の機能や松くい虫の現状を説明。小学生らは、「海から吹いてくる風から家を守るために松を植えているのか」と考えをめぐらせたり、「私たちが大きくなった時、植えられた松はどれぐらいの大きさになるのだろうか」と想像を膨らませたりしている様子でした。

その後、植樹会場へ移動。新川森林組合の職員さんが植樹のポイントについて実演をふまえて説明を行ったことで、参加者した皆さんは丁寧に植樹することができました。植樹した抵抗性クロマツ200本の苗木が順調に育ち、園家山の景観がよみがえることを我々一同は願っております。



地域の方々も参加されます



開会式



松くい虫被害について説明



森林組合職員による植樹方法の説明



植樹がんばるぞ！



地域の方々の熱い思い、感じました！



植樹完了！